

第Ⅱ文化層U4内、31・32ブロック石器群



194

195



208

207

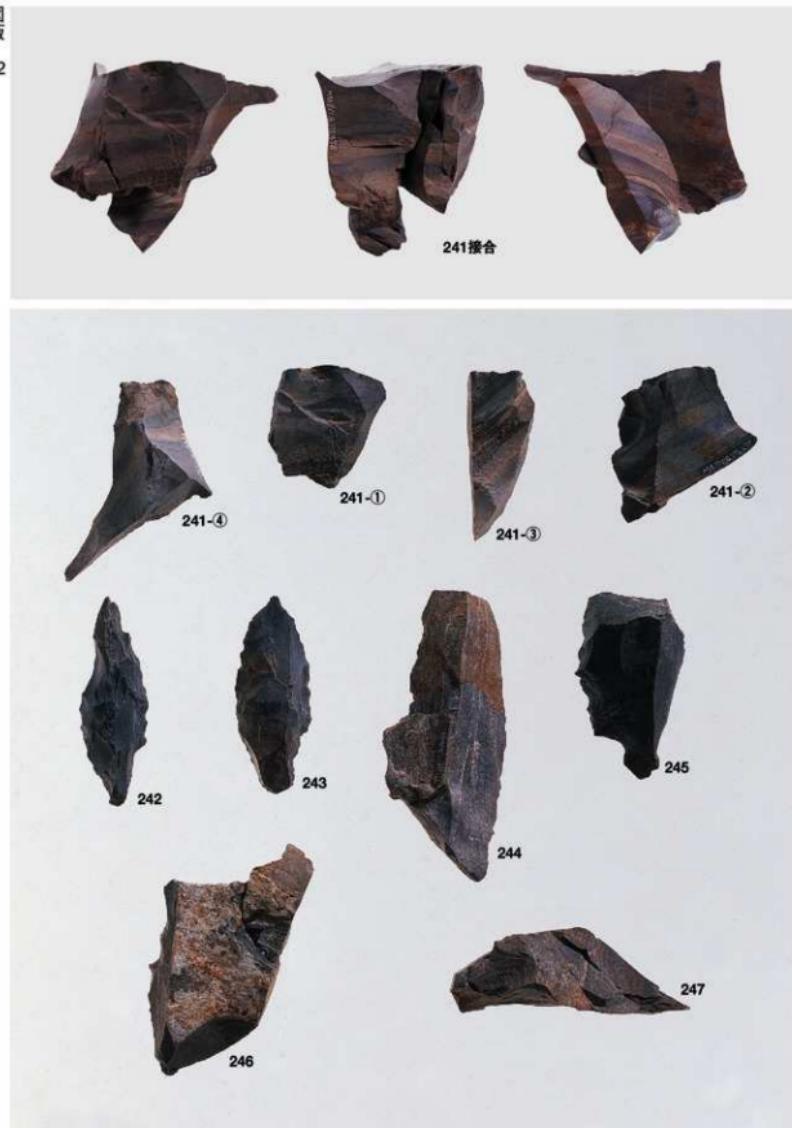
第Ⅱ文化層U4内出土三稜尖頭器



第Ⅱ文化層33・34ブロック、U5内石器群



第Ⅲ文化層1~4 ブロック石器群



第Ⅲ文化層4・5 ブロック石器群



第三文化層 6～9 ブロック石器群

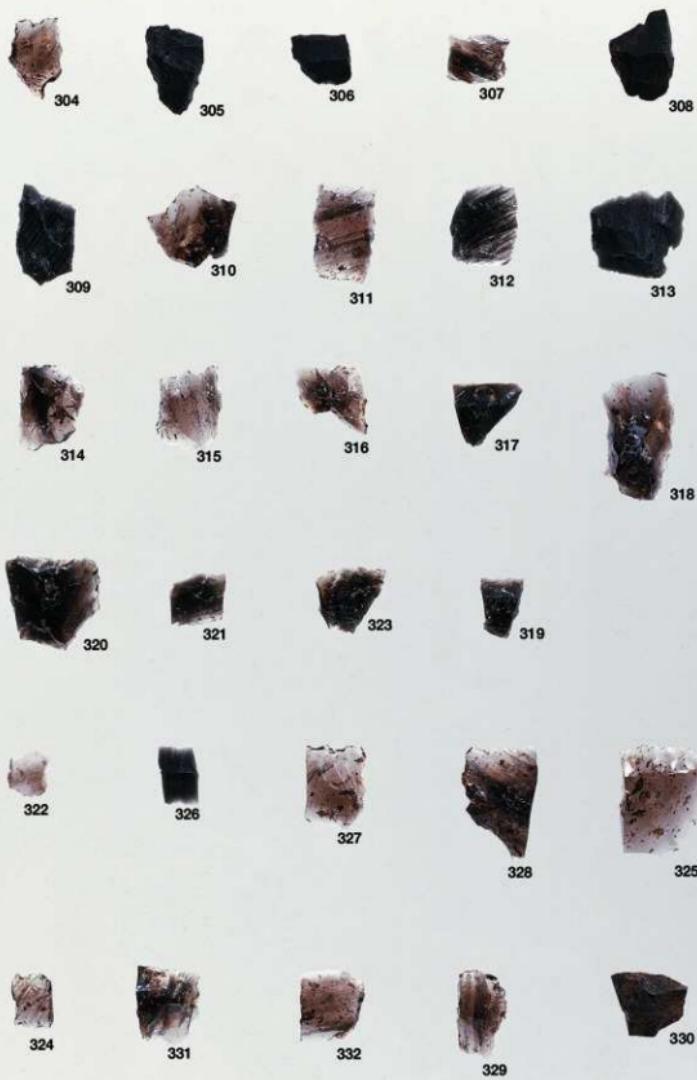


第Ⅲ文化層6・7ブロック、ブロック外石器群



第III文化層10・11ブロック石器群

36

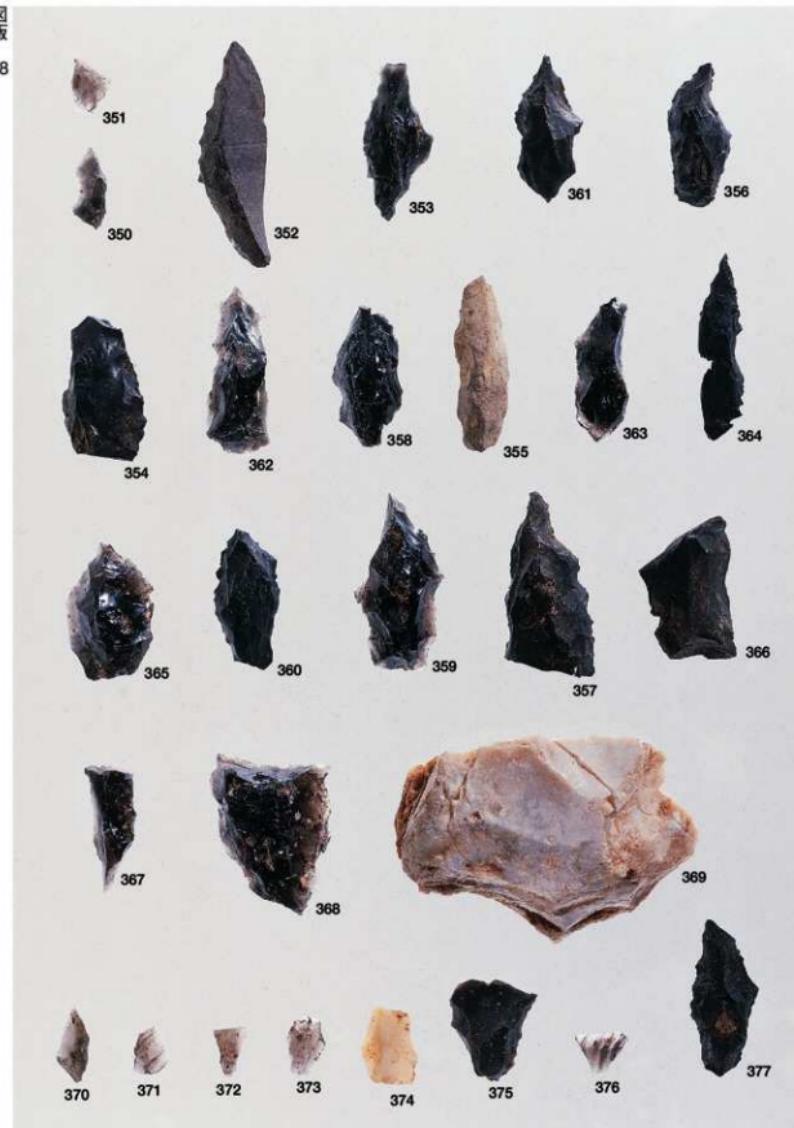


第Ⅲ文化層11ブロック石器群

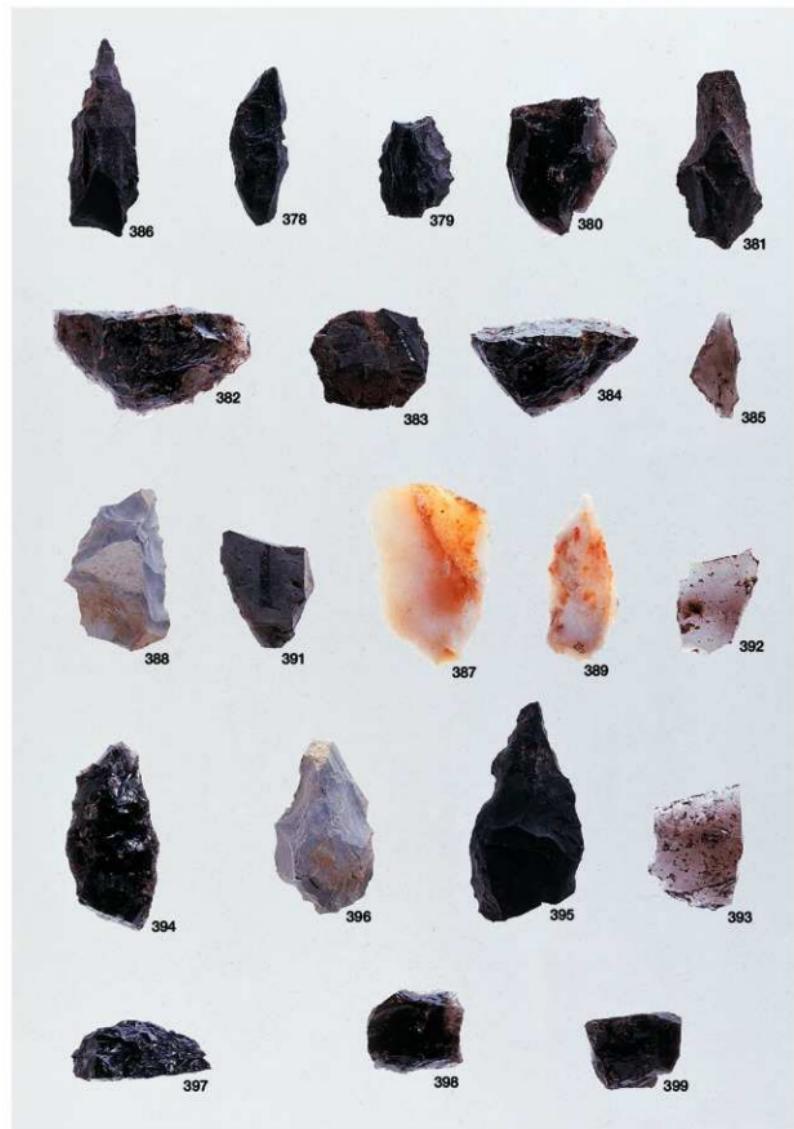


第Ⅲ文化層11ブロック石器群

38



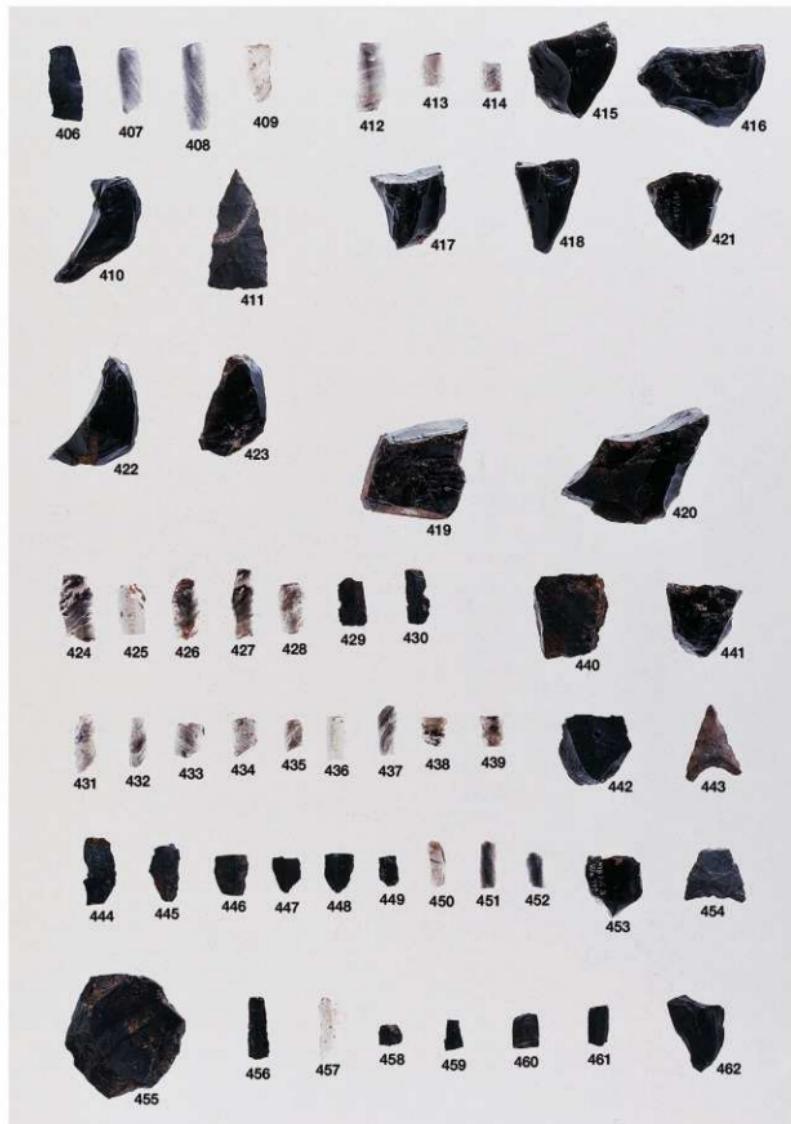
第Ⅲ文化層12ブロック石器群



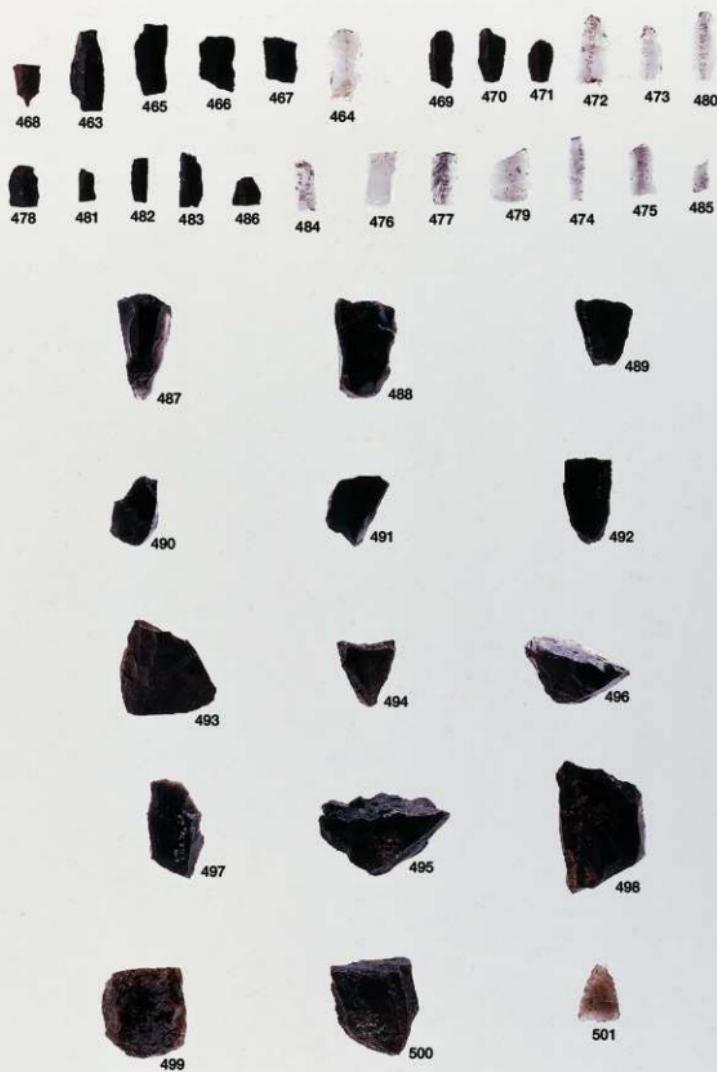
第三文化層14・15ブロック、ブロック外石器群



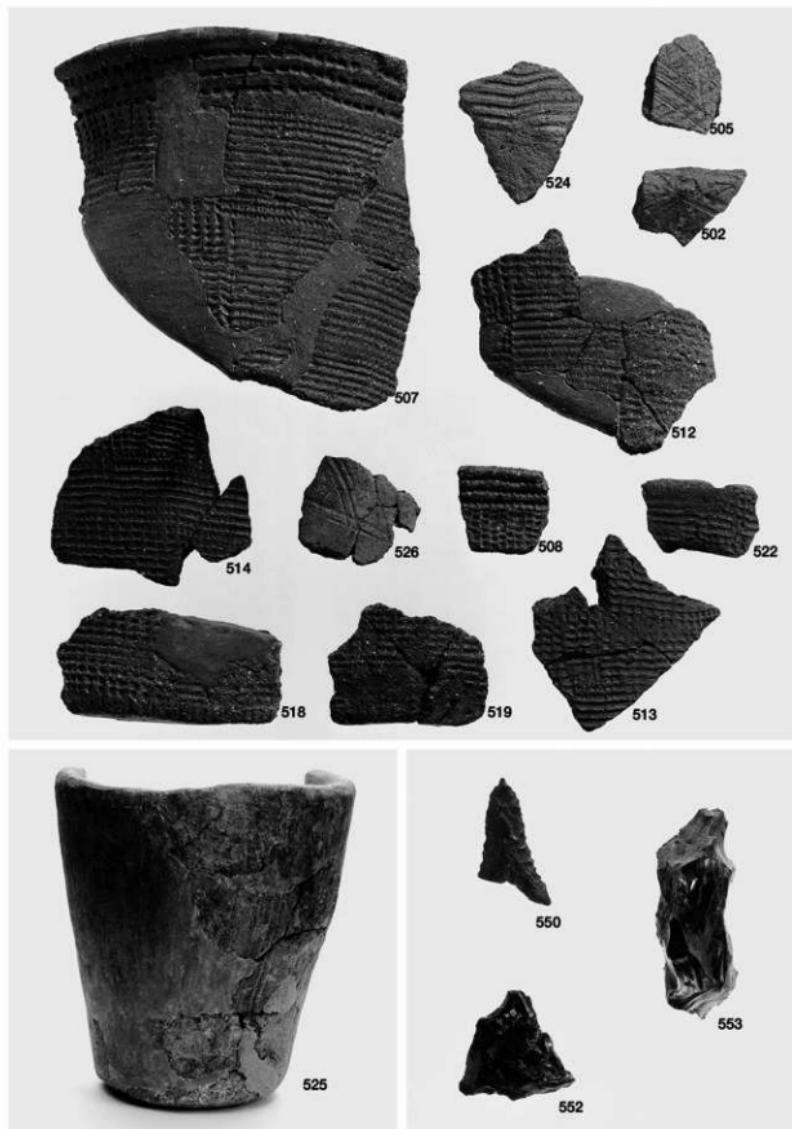
第Ⅲ文化層10・11・13ブロック、ブロック外石器群



第IV文化層 1～6 ブロック石器群



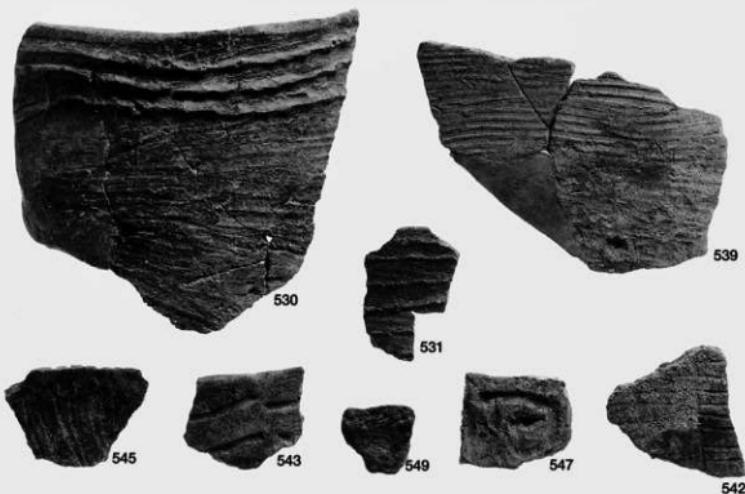
第IV文化層 7 ブロック石器群



縄文土器 1・石器



534



530

531

539

545

543

549

547

542

繩文土器 2



563
土坑内



559
土坑内



560
土坑内



558
土坑内

成川式土器 1



成川式土器 2

あ と が き

前山遺跡は、AT上位の多様な器種組成がみられるだけでなく、さらにAT下位からも石器群が出土しており、発掘調査時から注目を集めていた遺跡である。遺物台帳のあちこちには大きな文字で器種名等のメモが残されており、調査時の興奮を物語っていた。

調査当時はセンターでトータルステーションを導入しはじめた時期であったため、平板データとデジタルデータの統合と調整に思いのほか手間取り、遺物の出土状況やブロックを把握するのに時間がかかってしまった。また、前年度まで整理されていたものに再度目を通してみると、石器類が多数含まれており、それらの実測に追われることになった。その結果、接合を行う時間が十分に取れなかったことが悔やまれる点のひとつである。

ほかにも反省点や検討すべき点は多々あるが、調査から10年を経て今回報告書を刊行することができた。本報告書が広く活用されれば幸いである。

最後に、前山遺跡の発掘調査・報告書作成に関わり、御協力頂いた作業員の方々を始め、お世話になったすべての方々に心より御礼申し上げます。 (寒川)

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(115)

前 山 遺 跡

発行日 2007年3月

編集 鹿児島県立埋蔵文化財センター

〒899-4318

鹿児島県霧島市国分上野原繩文の森2番1号

TEL 0995-48-5811

印刷㈱イースト朝日

〒891-0122

鹿児島県鹿児島市南栄3丁目30-7

TEL 099-266-5522



鹿児島県